

坂本朝塾 19期へのご案内

分類	原理・原則	解説・例
はじめに		<ul style="list-style-type: none"> ・(株) 資産工学研究所主催の「坂本朝塾」から、限られた有志ある方へのご案内です。 ・あなたの仕事と人生に大きな変化と進歩が期待できます。 ・既に、1期生から18期生の方々が驚きの体験と成果を得られています。 ・姿勢・思考・実行面で驚異のパワーアップと能力向上を達成できます。 ・パートナーと刺激しあい、1日のリズム 1週間のリズムが創造的に変わってきます。 ・坂本アーキテクチャと早朝エネルギーの素晴らしいシナジー効果を体感できます。 ・素晴らしい同志にめぐり合い、新しい交流が財産になります。
開催要領	日時・会場等	<ul style="list-style-type: none"> ・日時：2011年12月8日(木) 開講 毎週 木曜日 7:00-8:30 ・会場：銀座線 虎ノ門駅 ディーネット社 セミナー室 ・会費：¥25,000/月 ・定員：12名
内容	坂本朝塾の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・日本におけるトップファッションデザイナー坂本善博所長を中心とする双方向形式のセミナーです。 ・キーとなる「一般の知識」としての理解に留まらず、実ビジネスで活用するための「自分の知恵」の体得をターゲットとします。 ・現象にとらわれず本質を追求する「原理・原則アーキテクチャ」に基づき、自分自身の気づきとレベルアップによる成長・成果向上を目指します。 ・各「コンピテンシー」の「見える化」された「ナレッジシート」が配布され、日常的に活用できます。 ・毎週テーマを決めて実践し報告するスタイルにより、体得するまでフォローされます。
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週着実に身につく「ビジネス コンピテンシー」を修得できます。 ・「ビジネスの原理・原則」を理解し、「行動の成功法則」を習得できます。 ・自分の現在地と将来の方向がはっきりと見えてきます。 ・毎週、坂本先生の強力な知的エネルギーを充電できます。 ・毎週、ビシビシとメンタル面で筋肉がついてきます。 ・自分自身の中にも 回りの人間関係にも変化が見えます。 ・他では得られない、極め付きのビジネスノウハウを獲得できます。等
	基礎編 12月-2月 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本アーキテクチャと11のビジネスコンピテンシー体得 12月度 : 本質思考と原理・原則アーキテクチャ <ul style="list-style-type: none"> ・プロフェシナリズム ・カスタマフォーカス ・ソリューション 1月度 : パフォーマンス <ul style="list-style-type: none"> ・リライアビリティ ・リーダーシップ ・プロフィットマインド 2月度 : コミュニケーション <ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーション ・リレーションシップ ・セルフマネジメント
申込み方法	事務局ご連絡先	<ul style="list-style-type: none"> ・資産工学研究所 高橋 http://www.iire.co.jp 電話:03-3535-5281 FAX:03-3535-5283

受講した皆様の声

分類	原理・原則	解説・例	*
はじめに		<ul style="list-style-type: none"> ・本資料は、坂本朝塾を受講された皆様の声をご紹介しますものです。 ・受講を検討される皆様や上司の皆様は是非ご参考になさってください。 	
Aさん (システム開発)	週の活動サイクルができた	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の時期は自宅を出る時間がまだ暗く、慣れるまでは大変でしたが、徐々に早朝のリズムに慣れていき、結果的には週のサイクルが木曜日始まりに変化していました。 	
	他の塾生のナレッジが参考になった	<ul style="list-style-type: none"> ・他の塾生の方々は業種も職種も異なる方ばかりでしたが、毎週の宿題を実践・体得して来られた塾生方を見て自分自身の刺激になりましたし、皆様から頂いた素晴らしいナレッジを活用させてもらっています。毎週必ず何かを掴んで、実業務に活かせていけたことが収穫でした。 	
Bさん (営業)	朝が楽しくなった	<ul style="list-style-type: none"> ・正直な話、最初に上司から言われた時には、内容はともかく「朝早いなあー」と思っていたのですが、参加し始めると参加するのが楽しくなってきました。 	
	業務が楽しくなった	<ul style="list-style-type: none"> ・結果やむを得ず1回休みましたが、その後は極力仕事の方を調整して参加するようにしました。坂本先生が言われるように、「常に何かを意図して行動する」ことが、こんなに日々の業務を楽しくするものだなあーと感じました。 	
	やり残しをマスタしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだやり残していることが多々ありますので、これからもセルフマネジメント力を向上させて、実践→成長→成果を出してマスタしていきたいと思います。 	
Cさん (管理部門)	現場で実践する仕組みが素晴らしかった	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜に 学んだことから3つのポイントを1週間現場で実践する仕組みが非常に効果的でした。 	
	意識改革によりプラスの連鎖が廻るようになった	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識を持ち、本質を見極める事で意識改革が行え、プラスの連鎖が廻って行き、他のコンピテンシーにも高い意識で望める事ができました。 (実践含めて) 	
Dさん (設計担当)	本質考動するようになった	<ul style="list-style-type: none"> ・基準をつねに「原理・原則」におくことで、細部に拘ることによる時間ロスをカットし、原則に立ち戻る習慣が身につきました。 	
	社内をリードできるようになった	<ul style="list-style-type: none"> ・「周囲の巻き込み」方法を得て、自信がつけました。社内ファシリテーターを務める機会がありましたが、以前よりは格段に、そうした役割に耐えられるようになりました。 	
	前倒しのスタイルが身についた	<ul style="list-style-type: none"> ・朝型が身につき、前倒しの行動による好循環が生まれました。 (なんと浪費家計まで改善！) 	
Eさん (SE)	仕事が速くなった	<ul style="list-style-type: none"> ・プロフェッショナルリズム : すぐ着手する。 …メールの返信や作業の8割方を2割の時間で終わらせるようになりました。(8:2の法則) 	
	顧客の顧客を意識するようになった	<ul style="list-style-type: none"> ・カスタマフォーカス : 顧客の顧客を意識する。 …仕様の作成・決定や打ち合わせにおいて常に意識を持つようになりました。 	
	褒める力がついた	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップ (コミュニケーション) : 成果を褒める。 …褒めることは苦手でしたが意識して小さなことでも褒めれるようになってきました。 	

受講した皆様の声（２）

分類	原理・原則	解説・例	*
Fさん (人事担当)	プロ意識が持てた	・プロ意識を持って仕事に向かう習慣がつかしました。	
	「見える化」して徹底できるようになった	・プロフィットマインドやリレーションシップといった普段から何気なく意識してきたことも、「見える化」し徹底することができるようになりました。	
Gさん (設計担当)	木曜日の午前の生産性が高まった	・時期的に寒くてつらかったのですが、木曜日の午前は仕事の生産性が極めて高かったと思います。	
	豊かな気持ちで日々過ごせるようになった	・講義の内容はどれも自分にとって非常に有意義な内容だったと思います。今後の自分の人生において、朝塾で学んだ事を有効に活用する事により、豊かな気持ちで日々を過ごしていけるよう心掛けたいと思います。	
	人脈を活用したい	・また、ここで得られた人脈を今後も有意義に活用できればと思います。	
Hさん (設計担当)	プロ意識を自分も部下も持つようになった	・プロフェッショナルリズムにおける「人のせいにしたり言い訳をしない」 →以前から自分の行動指針として心掛けていた事でもありましたが、より一層強く意識し、実践できるようになったかと思います。 →また部下にもこの原理・原則は実践指導しました。	
	エンドユーザを強く意識するようになった	・カスタマフォーカスにおける「顧客の顧客を意識した行動をする」 →自分の立場からはどうしても直接の取引先であるメーカーやベンダーが中心となっていました、その先の顧客（エンドユーザ）を強く意識するようになり、色々な局面で考え方が変わってきたと思います。	
Iさん (コンサル)	重要な役目を果たせるようになった	・国際会議のWGのリーダーを拝命するまでに至りました。会議を運営するファシリテーション力だけでなく、メンバーの意見を吸い上げる傾聴力、様々なメンバーをバランスよくまとめるリレーションシップの力がついたためだと思います。	